

市民アンケート調査結果（速報）

1. 調査概要

(1) 調査の目的

市民アンケートはごみ減量化や資源化、リサイクルに対する関心度、実際の取組みや各施策の認知度について調査を行い、現状の把握や市民の意見、行政への要望等を把握しました。

(2) 調査対象、調査期間

草津市内に在住する満18歳以上の市民3,000人（令和元年12月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出）を対象としました。

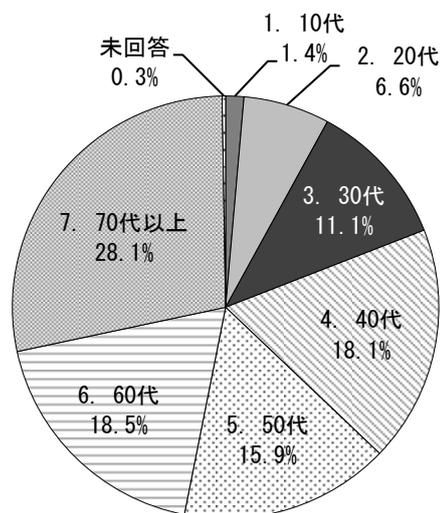
実施期間は以下のとおりです。

調査開始日	2019年12月7日（土）
回答締切日	12月25日（水）（12月27日（金）到着分）

(3) 回収結果（回答数 1,160件、回答率：38.7%）

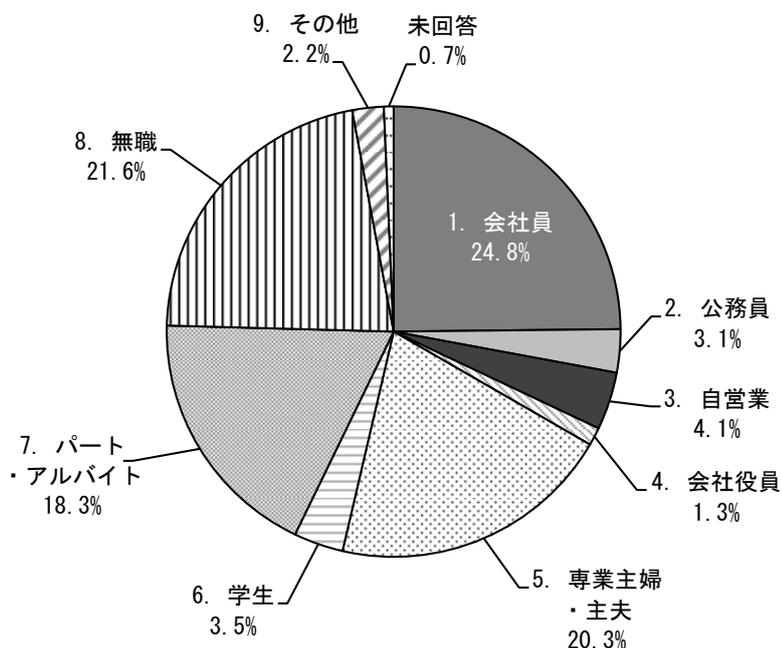
①年齢

	回答数
1. 10代	16
2. 20代	76
3. 30代	129
4. 40代	210
5. 50代	185
6. 60代	215
7. 70代以上	326
未回答	3
合計	1,160



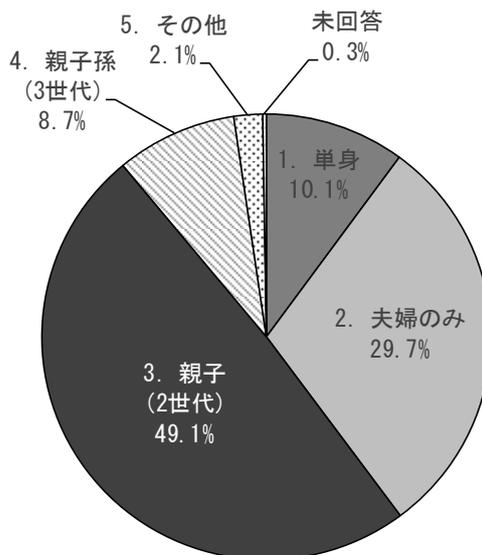
②職業

	回答数
1. 会社員	288
2. 公務員	36
3. 自営業	48
4. 会社役員	15
5. 専業主婦・主夫	235
6. 学生	41
7. パート・アルバイト	212
8. 無職	251
9. その他	26
未回答	8
合計	1,160



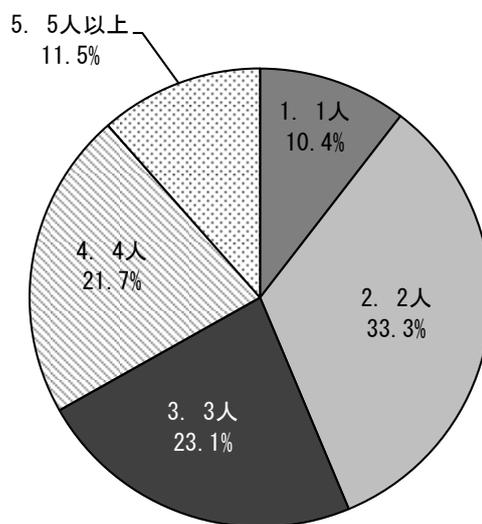
③世帯構成

	回答数
1. 単身	117
2. 夫婦のみ	345
3. 親子(2世代)	570
4. 親子孫(3世代)	101
5. その他	24
未回答	3
合計	1,160



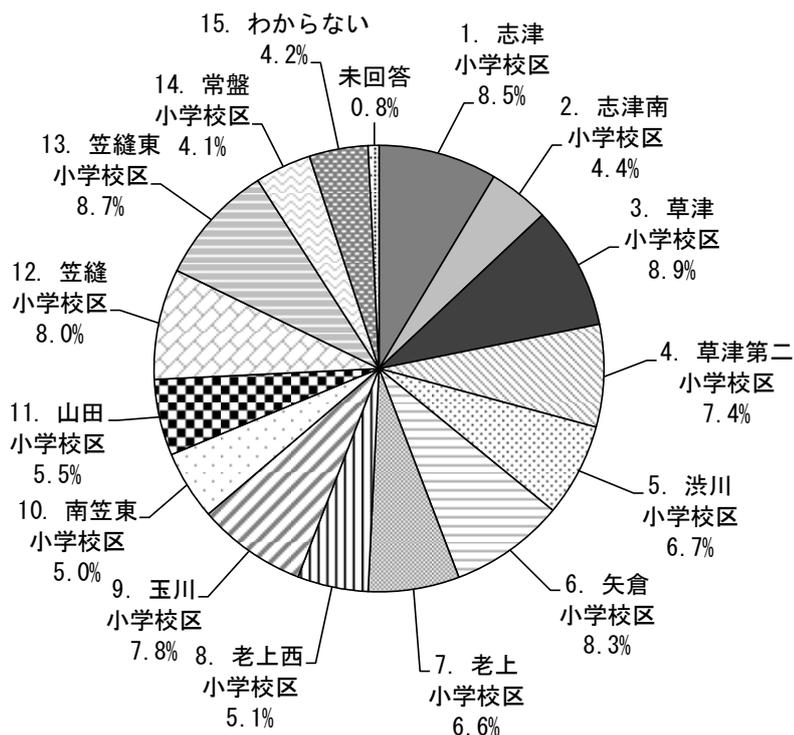
④世帯人数

	回答数
1. 1人	121
2. 2人	386
3. 3人	268
4. 4人	252
5. 5人以上	133
未回答	0
合計	1,160



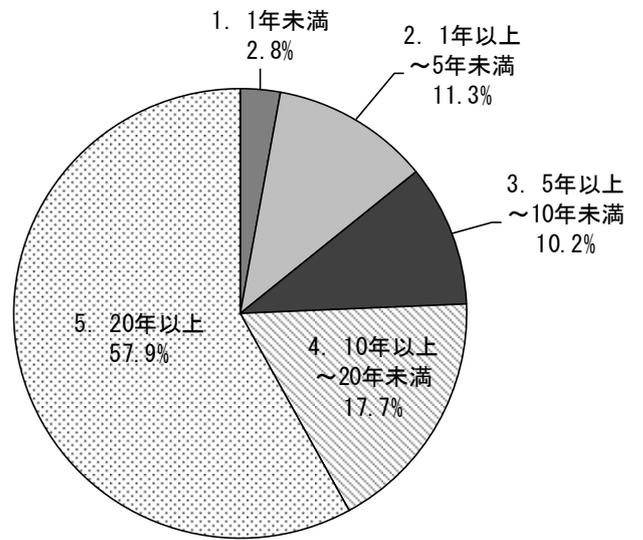
⑤居住地区

	回答数
1. 志津小学校区	99
2. 志津南小学校区	51
3. 草津小学校区	103
4. 草津第二小学校区	86
5. 渋川小学校区	78
6. 矢倉小学校区	96
7. 老上小学校区	76
8. 老上西小学校区	59
9. 玉川小学校区	91
10. 南笠東小学校区	58
11. 山田小学校区	64
12. 笠縫小学校区	93
13. 笠縫東小学校区	101
14. 常盤小学校区	47
15. わからない	49
未回答	9
合計	1,160



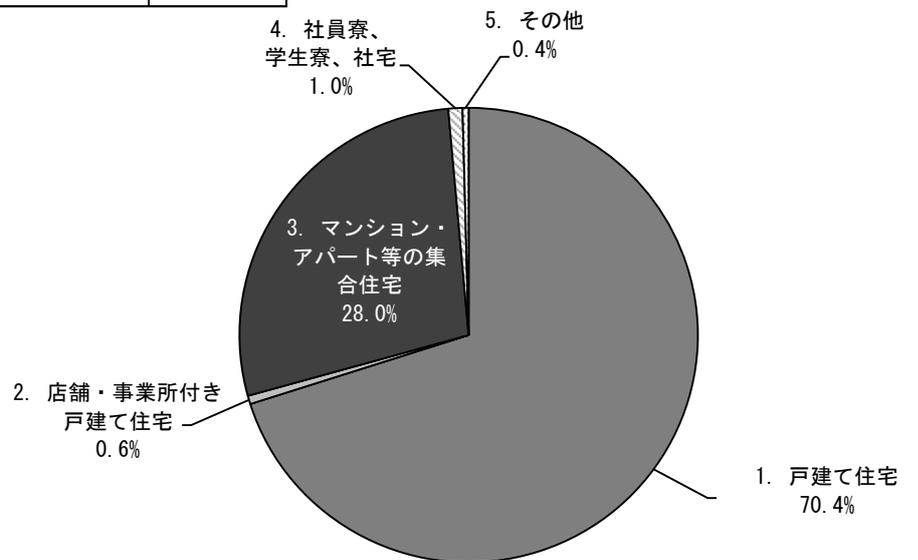
⑥居住年数

	回答数
1. 1年未満	33
2. 1年以上5年未満	131
3. 5年以上10年未満	118
4. 10年以上20年未満	205
5. 20年以上	672
未回答	1
合計	1,160



⑦居住形態

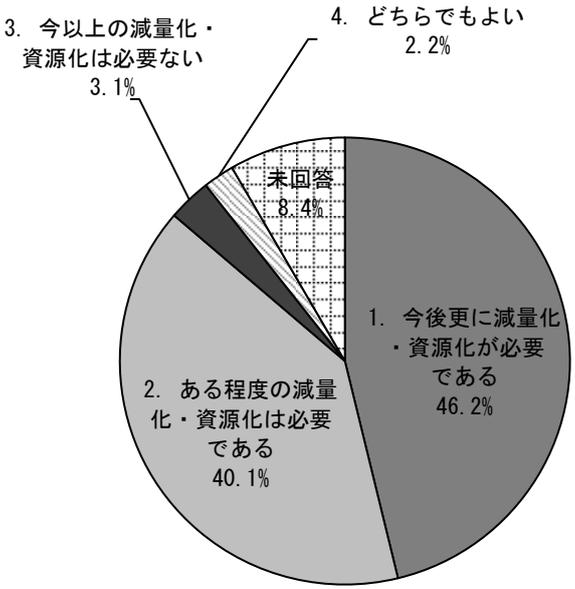
	回答数
1. 戸建て住宅	817
2. 店舗・事業所付き戸建て住宅	7
3. マンション・アパート等の集合住宅	325
4. 社員寮、学生寮、社宅	5
5. その他	5
未回答	1
合計	1,160



【1. ごみの減量化・資源化について】	
目的	ごみの減量化等に対する意識を調査・把握する。回答者属性とのクロス分析によりターゲットを絞り、施策につなげる。

問1 資源の有効利用、ごみの最終処分場（埋立地）の問題、ごみ処理経費の低減などの観点から、ごみの減量等が必要だと言われていますが、あなたは、ごみの減量化、資源化についてどう思いますか。（〇は1つ）

	回答数
1. 今後更に減量化・資源化が必要である	536
2. ある程度の減量化・資源化は必要である	465
3. 今以上の減量化・資源化は必要ない	36
4. どちらでもよい	26
未回答	97
合計	1,160



【結果概要】

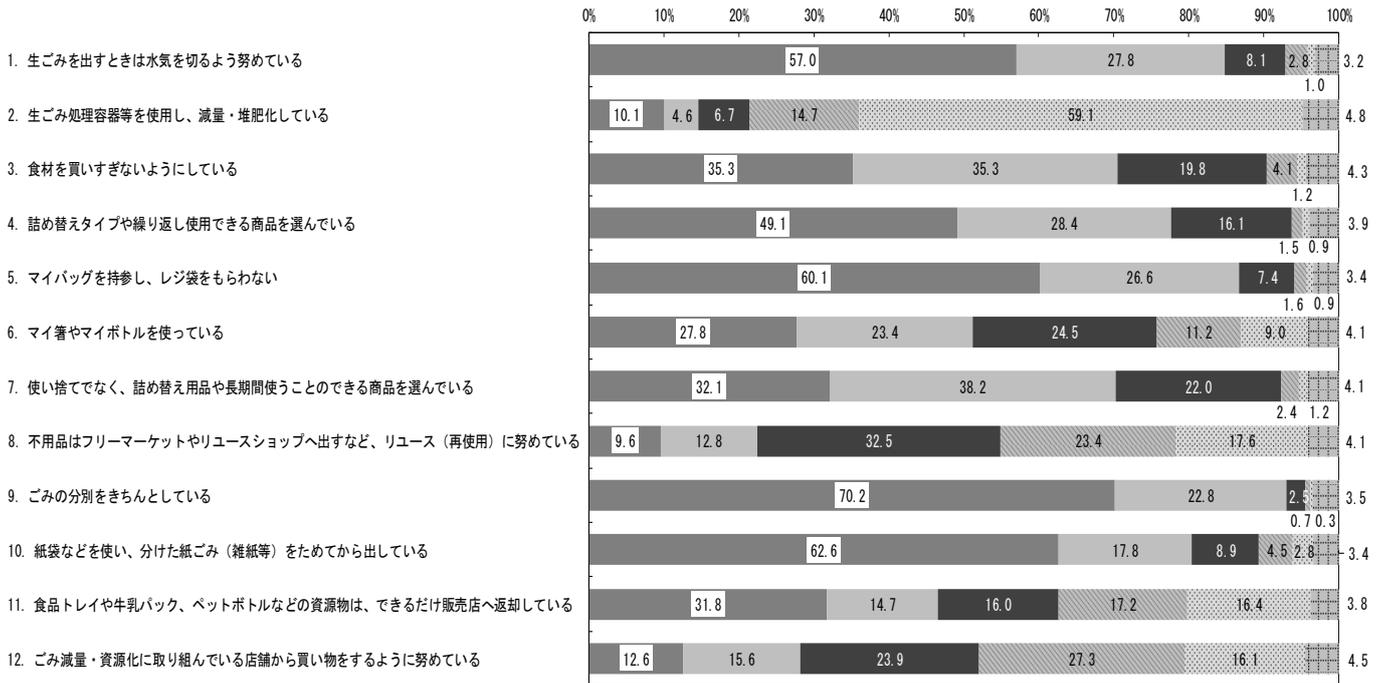
「1. 今後更に必要である」が 46.2%と最も高く、次いで「2. ある程度必要である」が 40.1%となっています。これらを合わせると 86.3%となり、**多くの市民の方がごみの減量化・資源化が必要だ**と考えています。一方で、「3. 今以上必要ない」、「4. どちらでもよい」合わせて約 5%の方で関心が薄いといった結果となりました。

【2. ごみの減量化・資源化の取り組みについて】

目的 ごみの減量化等に対する実際の取り組みを調査・把握する。取組ごとの回答結果や回答者属性とのクロス分析により、ターゲットを絞り、施策につなげる。

問2 ごみの減量化、資源化に関する以下の各項目について、どの程度取り組んでいますか？あてはまるものをそれぞれ1つ選び、該当する数字に○をしてください。

■①いつもしている ■②ほとんどしている ■③時々している ■④ほとんどしていない ■⑤まったくしていない ■未回答



【結果概要】

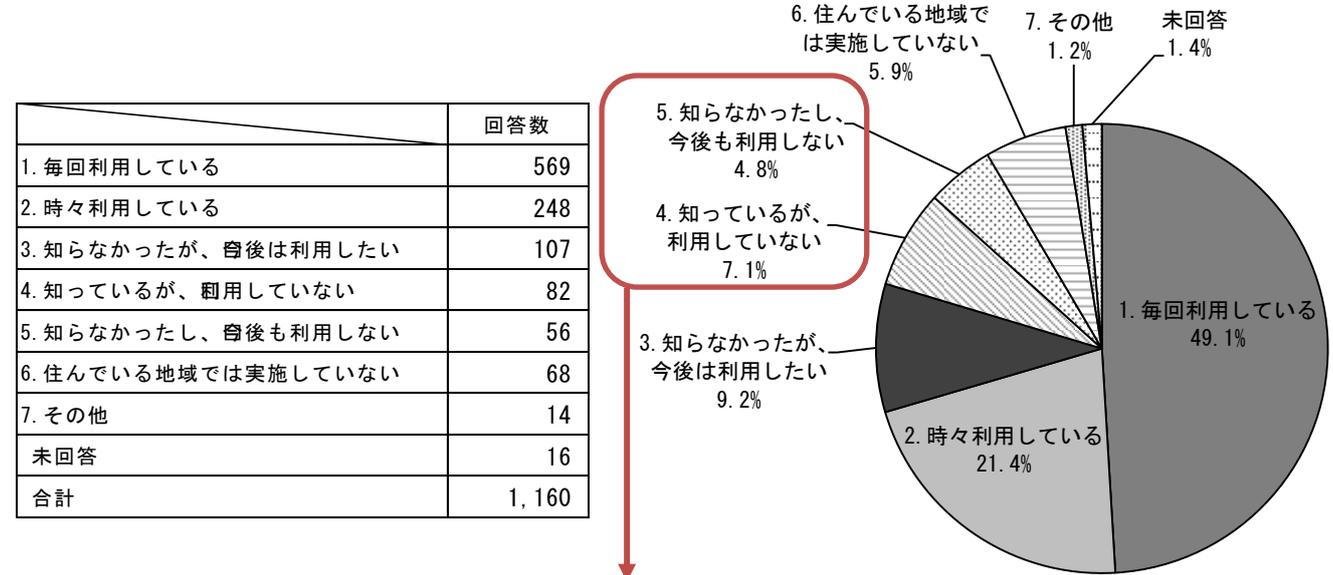
「いつもしている」という回答が最も多かったのは、「9. ごみの分別」で70.2%、一方、「まったくしていない」という回答が最も多かったのは、「2. 生ごみ処理容器」で59.1%でした。

選択肢の「時々している（表中黒色）」が中央より右にある項目は比較的取り組みが進んでおり、左にあるものはあまり進んでいないことが読み取れます。

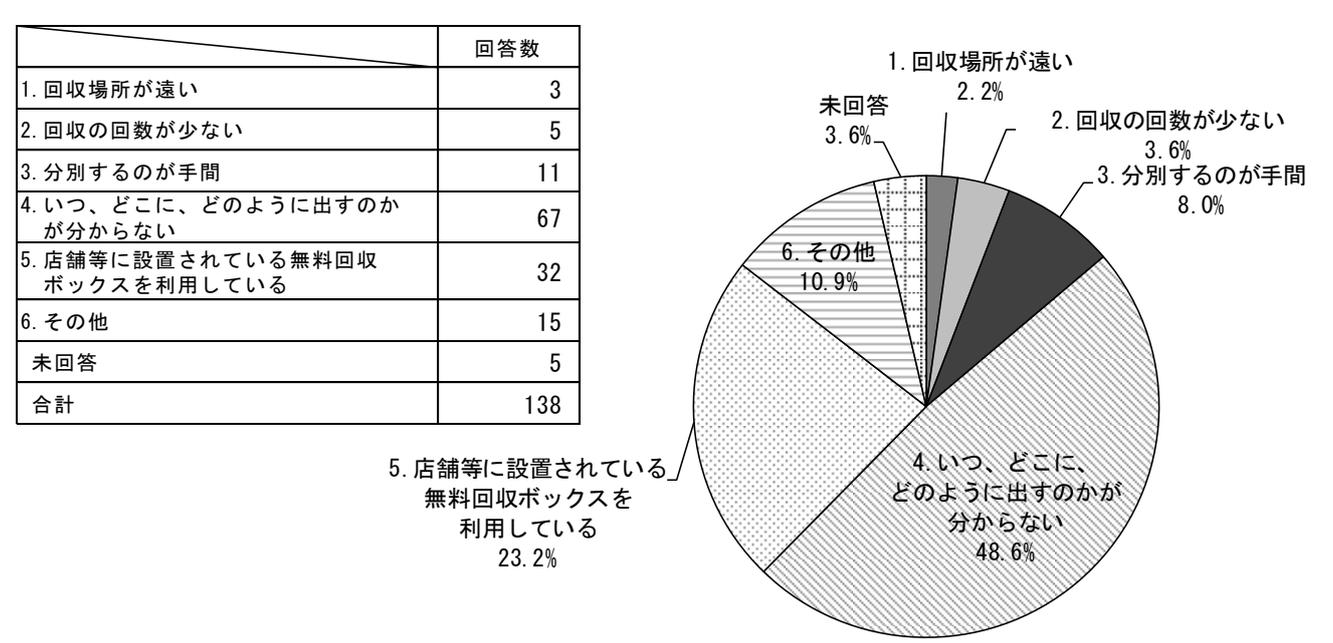
【3. 資源回収活動の利用状況について】

目的
 ・近年減少傾向にある資源回収活動の利用状況や認知度について把握する。
 ・利用しない方の理由を把握し、回収量の増加（資源化率の向上）につながるよう検討する。

問3-1 町内会やPTA、子ども会などが行う資源回収を利用していますか。（〇は1つ）



問3-2 問3-1で4、5に〇をつけた方にお聞きします。その理由は、次のどれですか。（〇は1つ）



【結果概要】

問3-1では「1. 毎回利用」、「2. 時々利用」合わせて約70%が資源回収活動を利用しています。

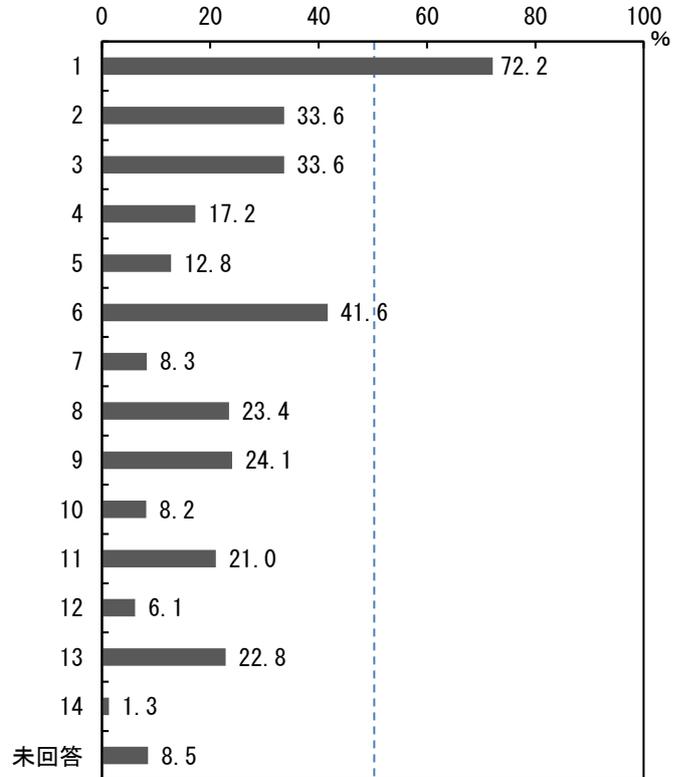
また、「4. 知っているが、利用していない」と「5. 知らなかったし、今後も利用しない」の約12%について、問3-2でその理由を調査したところ、約半数が「4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からない」ことを挙げています。次いで「5. 店舗等に設置されている無料回収ボックスを利用している」が23.2%となっています。

【4. 草津市の実施施策の周知について】

目的 | ごみの施策の認知度を把握し、認知度の低いものの周知啓発方法を検討する。

問4 草津市が行っているごみの施策について、知っているものをすべてお選びください。
(〇はいくつでも)

	回答数
1. 買い物袋持参運動の展開	837
2. 資源回収活動への支援 (資源回収活動事業推進奨励金)	390
3. 生ごみ処理容器購入者への補助	390
4. 段ボールコンポストの実践普及啓発	200
5. 環境学習体験講座	148
6. クリーンセンターの見学	483
7. クリーンセンターでのワークショップ	96
8. リサイクル家具抽選会	272
9. 転入者への窓口説明	279
10. 事業所へのごみの分別、減量指導	95
11. 団体によるボランティア活動への支援 (ごみ袋無料配付等)	244
12. 「3010運動+」の取組み (食品ロス削減啓発ちらしの配布)	71
13. ごみ問題を考える草津市民会議との連携 (リサイクルフェア・市内一斉清掃など)	265
14. その他	15
未回答	99
合計	3,884



【結果概要】

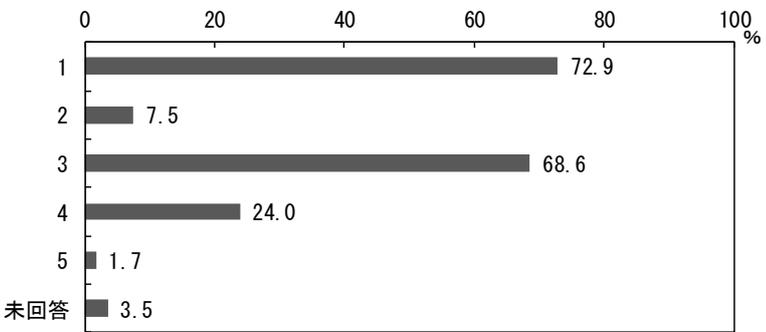
「1. 買い物袋持参運動の展開」が72.2%と最も多く、その他の施策については、50%未満の認知度となりました。

「7. クリーンセンターでのワークショップ」、「10. 事業所へのごみ分別、減量指導」、「12. 3010 運動+の取組み」は、**近年取り組みを始めたことから、より認知度が低い結果**となっています。

【5. 食品ロスについて】	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の潮流から、食品ロスについての認知度を把握する。 ・食品ロスの発生理由を把握し、今後の施策展開の検討資料とする。

問5-1 食品ロスについて、該当するものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

	回答数
1. 食品ロスの言葉は聞いたことがある	846
2. 食品ロスの言葉や意味も知らなかった	87
3. 食品ロスが問題になっていることを知っている	796
4. フードバンク活動やフードドライブ活動を知っている	278
5. フードバンク活動やフードドライブ活動に参加したことがある	20
未回答	41
合計	2,068

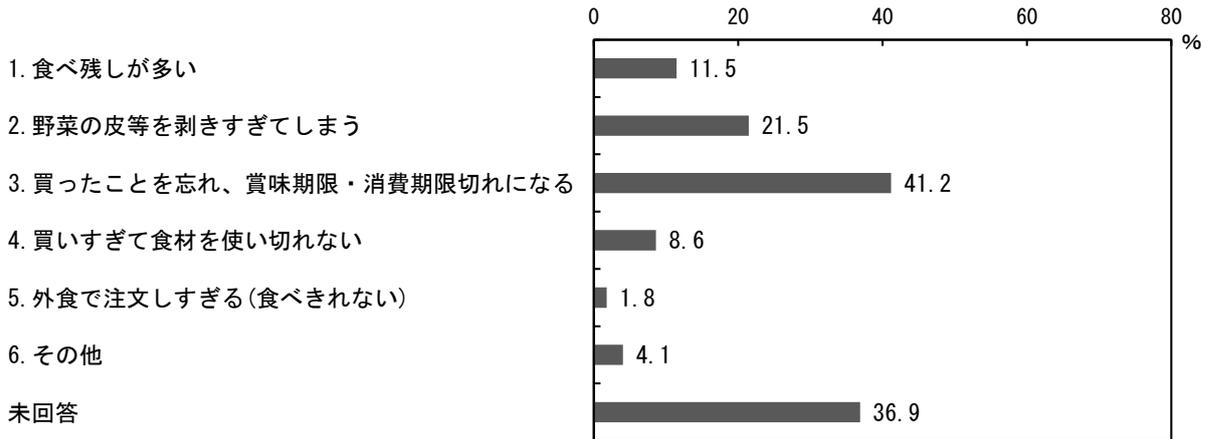


【結果概要】

「1. 食品ロスの言葉は聞いたことがある」が72.9%で「2. 知らなかった」という回答の7.5%を大きく上回っており、**食品ロスという言葉が浸透**しています。

また、食品ロスの認知度や問題意識は高いものの、「4. フードバンク活動やフードドライブ活動を知っている」は24.0%とやや低く、「5. 参加したことがある」は1.7%にとどまっています。

問5-2 日常生活で、食品ロスは出ますか。出る方は、その理由について、該当するものをすべてお選びください。(〇はいくつでも) 食品ロスが出ない方は問6へお進みください。



【結果概要】

食品ロスが出る理由としては、「3. 買ったことを忘れ、賞味期限・消費期限切れになる」が41.2%と最も多く、次いで「2. 野菜の皮等を剥きすぎてしまう」が21.5%となっており、**調理時より食品購入以降が食品ロスの発生理由として多く挙げられています。**

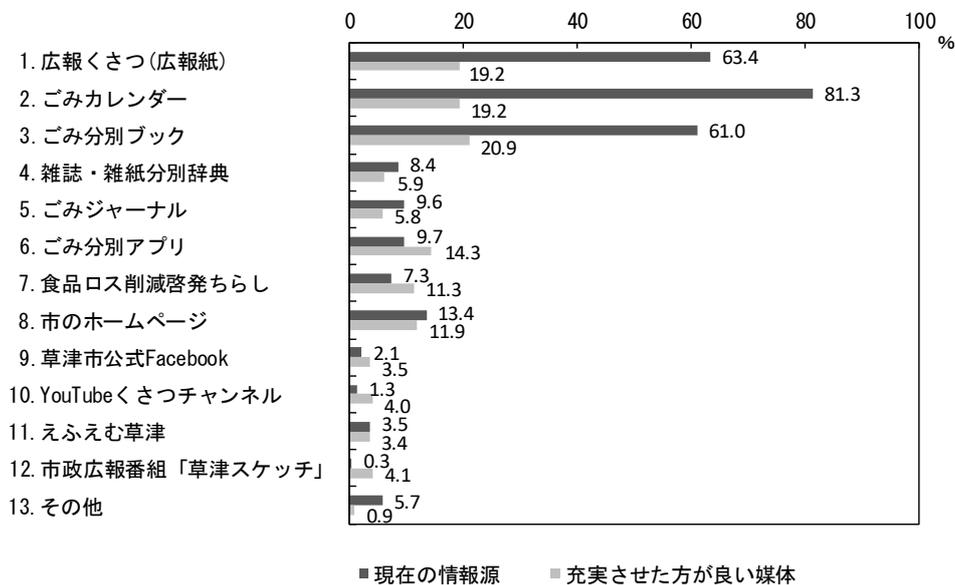
なお、「未回答」の36.9%は、**食品ロスが出ない**と回答した方となっています。

【6. ごみの減量化・資源化に関する情報入手方法について】

目的	市民のごみに関する情報収集手段について把握し、有用なものを継続し、効果の薄いものについて再検討する。
----	--

問6 次の情報媒体のうち、ごみの減量化、資源化などに関する情報を入手するための情報源として活用しているものについて、該当するものにすべて○をしてください。また、今後情報を受け取る手段として、充実させた方が良いと思う媒体について、該当するものにすべて○をしてください。

	現在の情報源	充実させた方が 良い媒体
	回答数	
1. 広報くさつ(広報紙)	735	223
2. ごみカレンダー	943	223
3. ごみ分別ブック	708	243
4. 雑誌・雑紙分別辞典	98	69
5. ごみジャーナル	111	67
6. ごみ分別アプリ	112	166
7. 食品ロス削減啓発ちらし	85	131
8. 市のホームページ	156	138
9. 草津市公式Facebook	24	41
10. YouTubeくさつチャンネル	15	46
11. えふえむ草津	41	40
12. 市政広報番組「草津スケッチ」	4	47
13. その他	66	10



【結果概要】

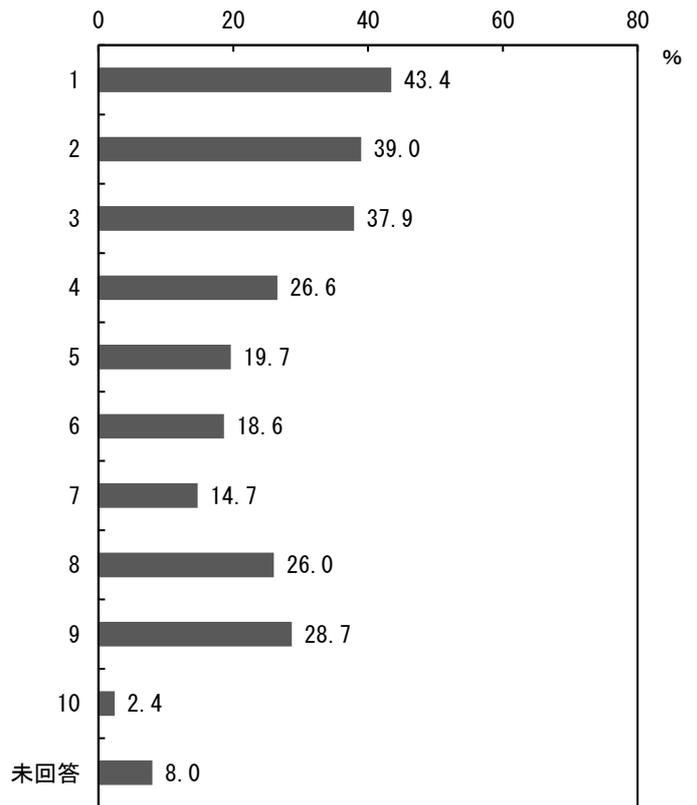
情報源として活用しているものは「2. ごみカレンダー」が81.3%と最も多く、次いで「1. 広報くさつ(広報紙)」63.4%、「3. ごみ分別ブック」61.0%となっており、**紙媒体による情報入手**が多い状況です。

また、充実させたほうが良い媒体も回答数としては紙媒体が多くなっていますが、「6. ごみ分別アプリ」、「9. Facebook」、「10. YouTube」などで、充実させたほうが良い媒体との回答が現在の情報源との回答より多くなっており、**電子媒体の充実**も求められていることが分かります。

【7. ごみの減量化・資源化に関する知りたい情報について】	
目的	市民のごみに関する情報のニーズを把握し、上位のものについてより積極的に発信するとともに、下位のものについても効果的な周知啓発方法を検討する。

問7 ごみの減量化、資源化などに関する情報について、もっと知りたい情報はどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

	回答数
1. ごみの分別の種類や出し方	504
2. 家庭でできるごみ減量方法	452
3. 市内でリユース・リサイクル商品を取り扱っている店舗	440
4. 食品トレイ等の回収を行っているスーパー等やその回収品目	308
5. イベント等の開催情報(リサイクルフェアなど)	228
6. 市のごみに関する施策や補助制度(資源回収活動や生ごみ処理容器購入への補助など)	216
7. ごみや資源物の回収量	171
8. ごみや資源物のゆくえ	302
9. ごみ処理にかかっている費用	333
10. その他	28
未回答	93
合計	3,075



【結果概要】

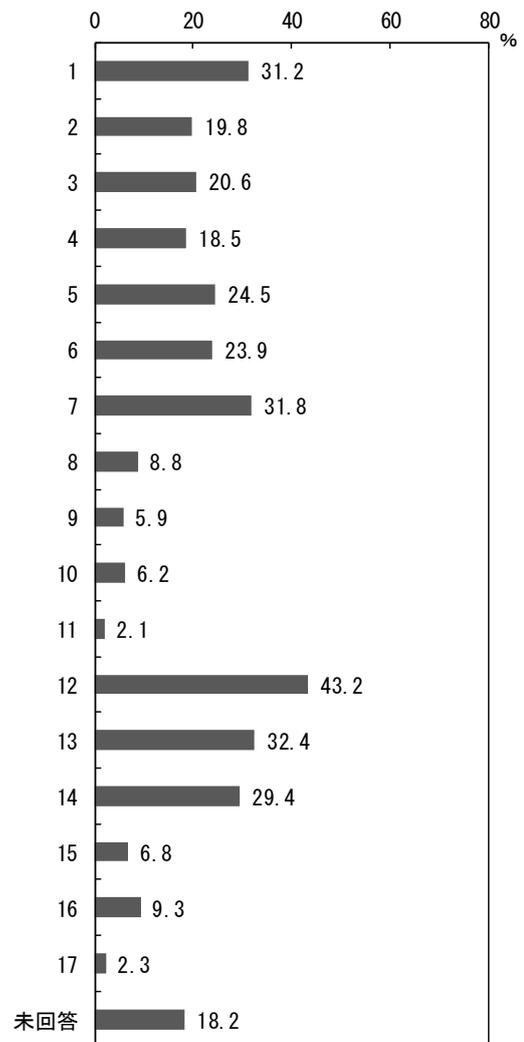
「1. ごみの分別の種類や出し方」という回答が43.4%と最も多く、次いで「2. 家庭でできるごみ減量方法」が39.0%、「3. 市内でリユース・リサイクル商品を取り扱っている店舗」が37.9%であり、「7. ごみや資源物の回収量」などの情報に比べ、**個人で取り組めることや日常生活（ごみ出し・買い物等）に関わる内容に関心が持たれやすい傾向**にあります。

【8. ごみの減量化・資源化を進めるための施策について】

目的	市民が必要と考えるごみに関する施策を把握し、上位のものについてより積極的に施策展開を検討するとともに、下位のものについても減量効果等を勘案しながら必要性やその効果を周知し、施策につなげていく。
----	--

問8 さらにごみの減量化、資源化を進めていくためにはどのような行政の施策が必要だと思いますか。(特に重要と思われるものから○を5つまで)

	回答数
1. 食べ残しを減らす等、ごみの減量のアイデアを募集し、紹介する	362
2. 生ごみの水切りをより広く周知する	230
3. 生ごみ処理容器や段ボールコンポスト等をより広く周知し、利用者を拡大する	239
4. フードバンク活動やフードドライブ活動を支援し、広く周知する	215
5. フリーマーケットなどの不用品交換イベントを促進する	284
6. リユースショップの情報や不用品を売買できるような情報を提供する	277
7. マイバッグ、マイボトル、マイ箸などの使用を促進する	369
8. ごみ袋を有料化する	102
9. ごみ袋の容量(大きさ)を小さくする	68
10. ごみ袋引換券配付枚数を減らす	72
11. 収集日を減らす	24
12. 分別が分かりにくいものを広報などで定期的に取り上げる	501
13. 衣類など、資源化できる品目を増やす	376
14. 店舗等に対し、簡易包装や量り売り、店頭回収の実施を働きかける	341
15. ごみの分別や減量化、資源化について地域で勉強会を開くなど、学習の場を設ける	79
16. 町内会やマンションなど、地域における自主的な取組みを広める	108
17. その他	27
未回答	211
合計	3,885



【結果概要】

「12. 分別が分かりにくいものを広報などで定期的に取り上げる」が43.2%と最も多く、次いで「13. 衣類など、資源化できる品目を増やす」が32.4%、「7. マイバッグ、マイボトル、マイ箸等の使用を促進する」が31.8%、「1. 食べ残しを減らす等、ごみの減量のアイデアを募集し、紹介する」が31.2%となっています。

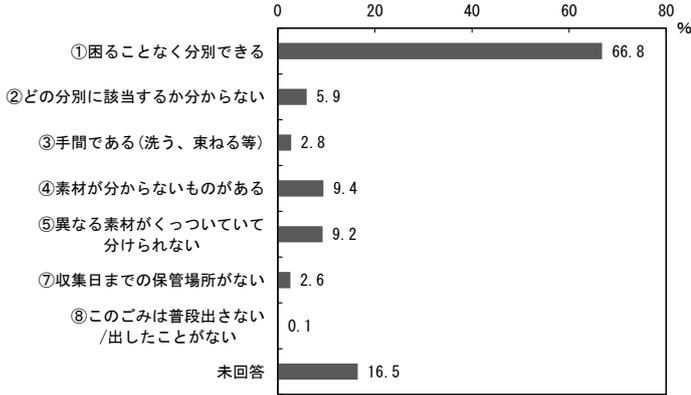
特に重要と思われるもの上位5つを選択する設問ですが、特定の施策への集中は見られず、**リデュース・リユース**に関する選択肢である1~7および14、**リサイクル**に関する選択肢である12,13に**回答が分散**しています。なお、市民生活に直接影響のある選択肢である8~11、15、16の施策については、消極的な傾向がうかがえます。

【9. ごみの分別について（その1）】

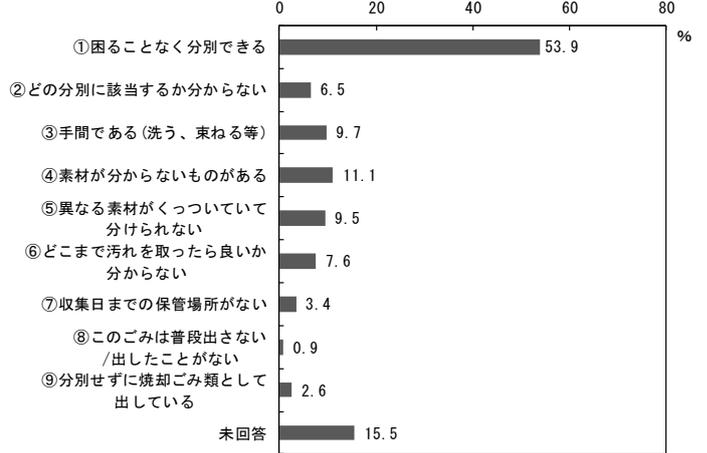
目的 市民のごみ分別に対する負担感や実際の分別行動、分別する際の課題を把握し、市民に周知すべき分別の注意点やさらに資源化できるごみ種について考察する。

問9 現状の分別区分で、分別と排出の際に困っていることはありますか。
ある方は、あてはまるものをそれぞれお答えください。（それぞれ〇は3つまで）

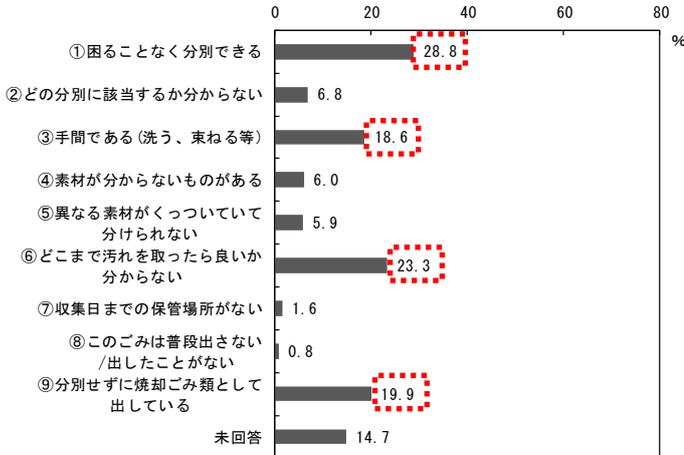
焼却ごみ類



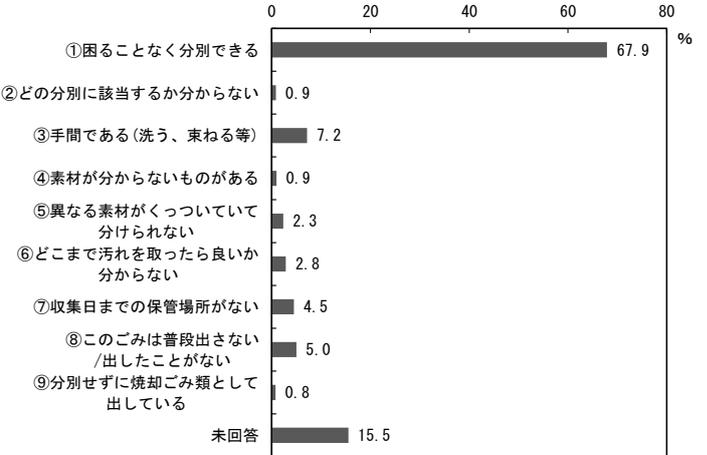
プラスチック製容器類(きれいな状態)



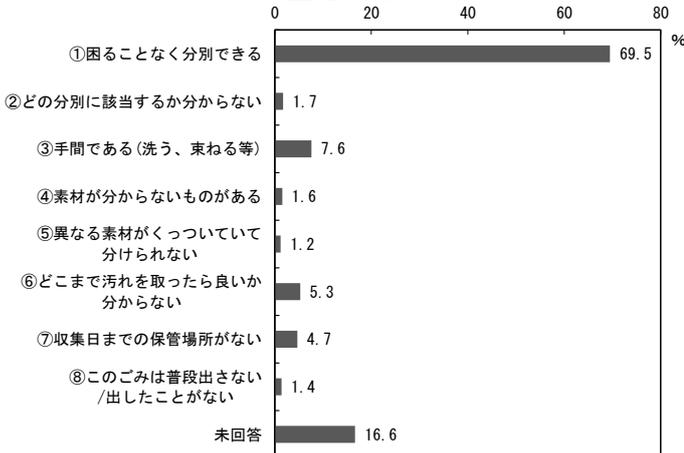
プラスチック製容器類(汚れている状態)



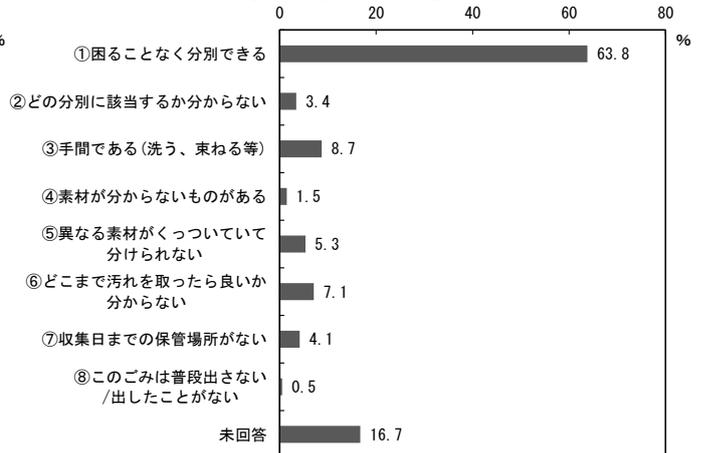
ペットボトル類



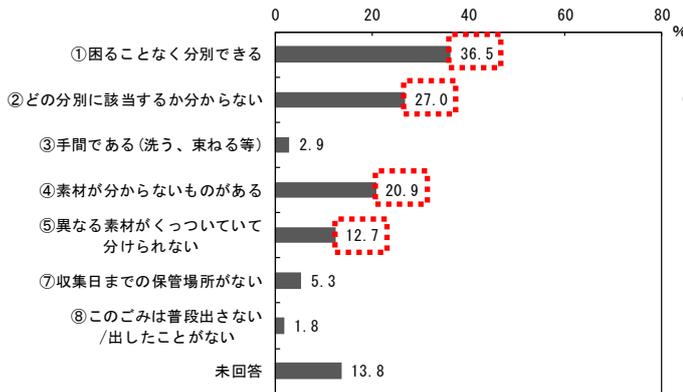
空き缶類



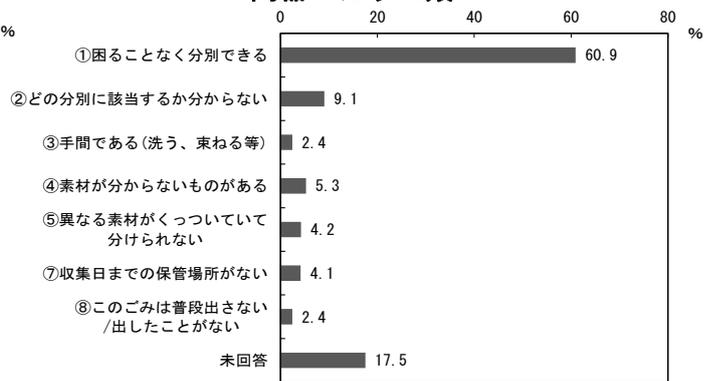
飲・食料用ガラスびん類



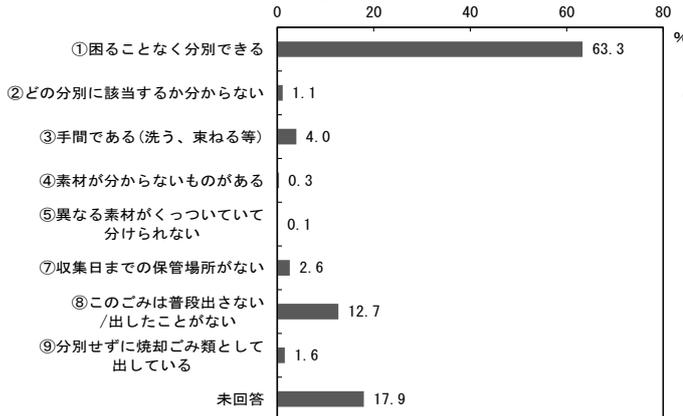
破碎ごみ類



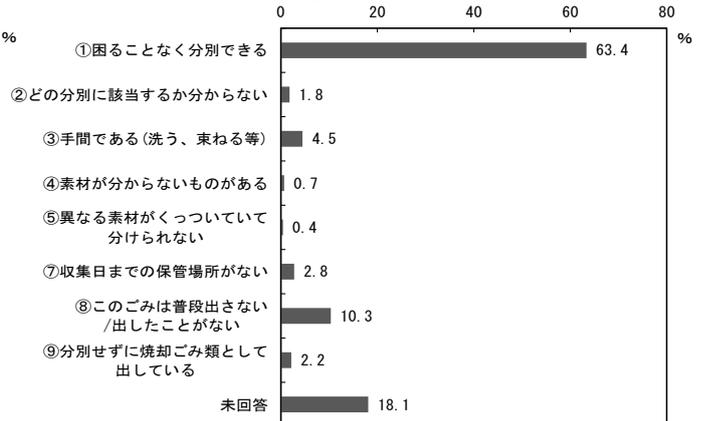
陶器・ガラス類



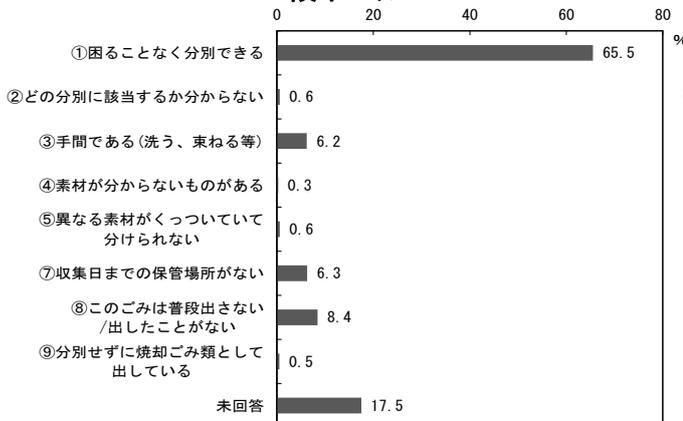
新聞・広告



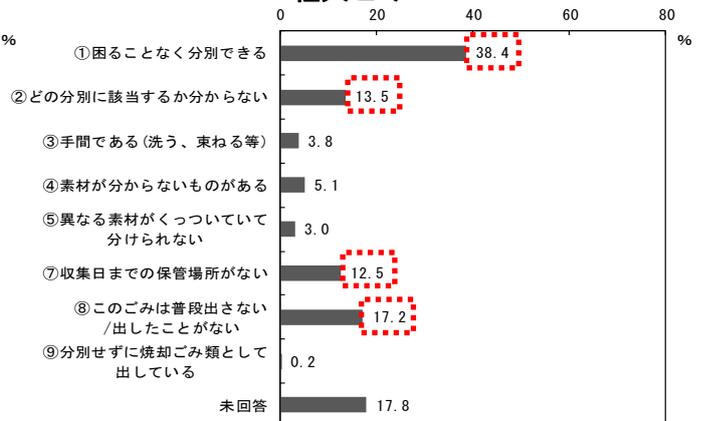
雑誌・雑紙



段ボール



粗大ごみ



【結果概要】

「プラスチック製容器類(汚れている状態)」、「破碎ごみ類」、「粗大ごみ」が、「困ることなく分別できる」割合が低く、分別に戸惑っていると考えられます。

理由として、「プラスチック製容器類(汚れている状態)」は、「どこまで汚れを取ったらよいか分からない」、「分別せずに焼却ごみ類として出している」、「手間である(洗う、束ねる等)」という意見が多く、「**汚れの基準の判断**」に戸惑う方が多いと考えられます。

「破碎ごみ類」は、「どの分別に該当するかわからない」、「素材が分からない」、「異なる素材がくっついている」という意見が多く、「**分別名称だけでは素材の判断がつかない**」ため、戸惑う方が多いと考えられます。

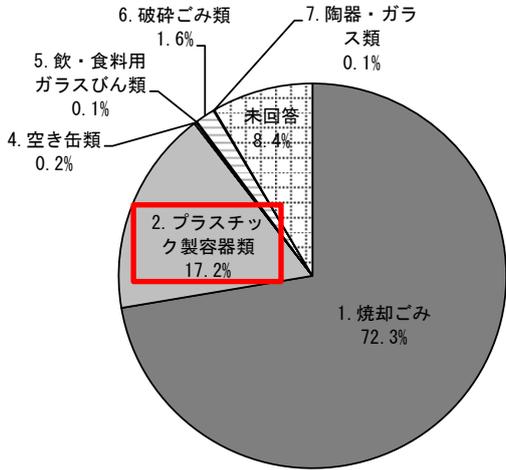
「粗大ごみ」は「どの分別かわからない」、「収集日までの保管場所がない」、「このごみは普段出さない」という意見が多く、「**大きさの基準**(50センチまたは10キロを超えるもの)が**十分浸透していない**ことや、大型であるため保管場所に困っていると考えられます。

【9. ごみの分別について（その2）】

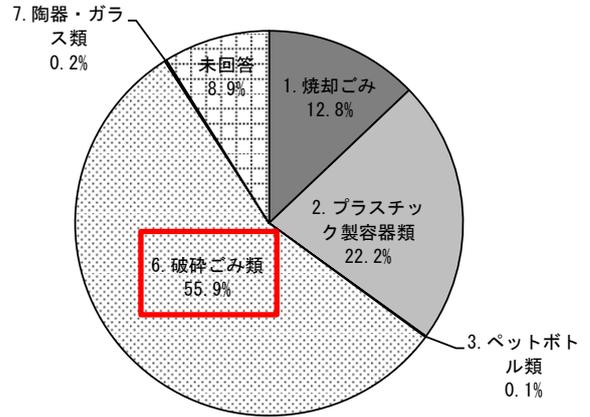
目的 適正な排出割合を把握し、今後の分別啓発の参考とする。

問 10 具体的に①～⑩のごみを排出するときどの区分に分別していますか。あてはまるものに○を記入してください。（それぞれ○は1つ）（ が正解を示す）

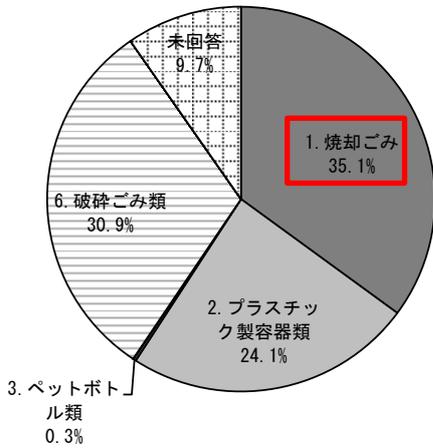
①調味料や歯磨き粉等のチューブ



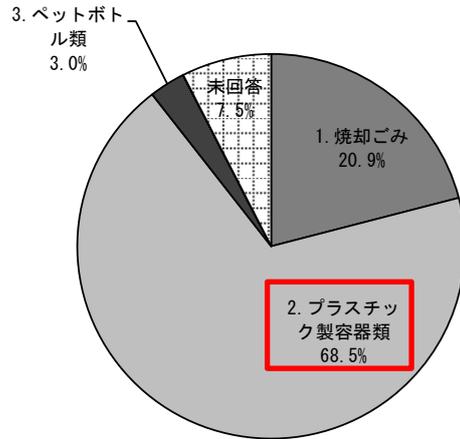
②プラスチック製バケツ・洗面器



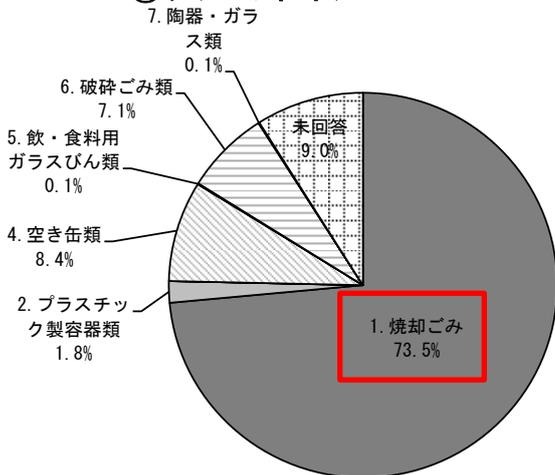
③プラスチック製ハンガー



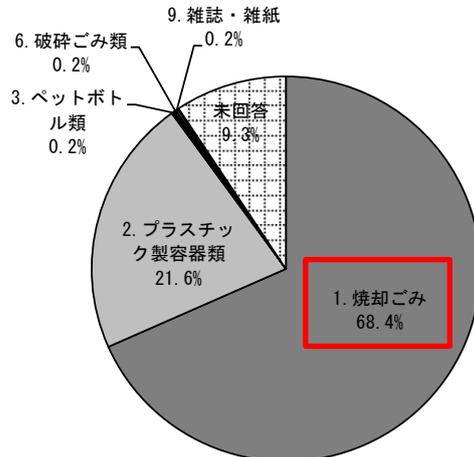
④ペットボトルのラベル



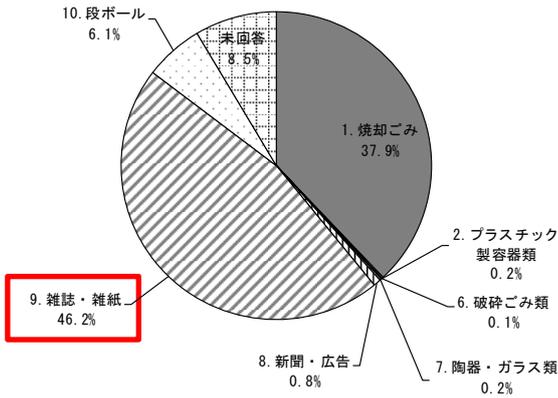
⑤アルミホイル



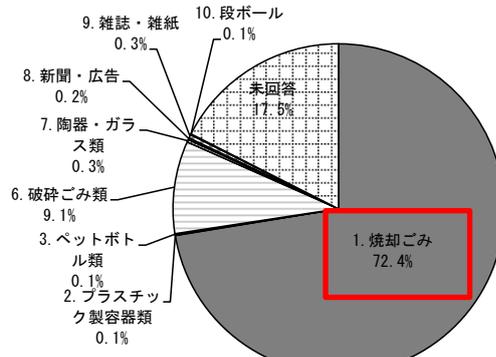
⑥家庭用ラップ



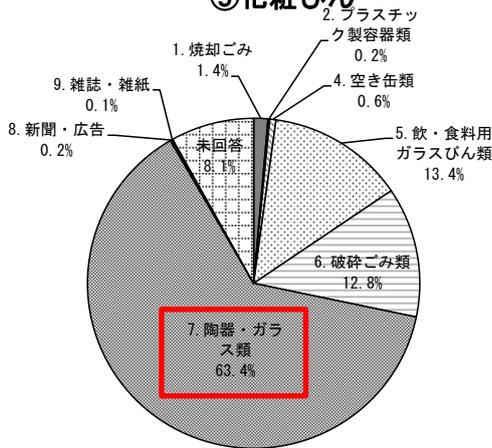
⑦紙製のお菓子の箱



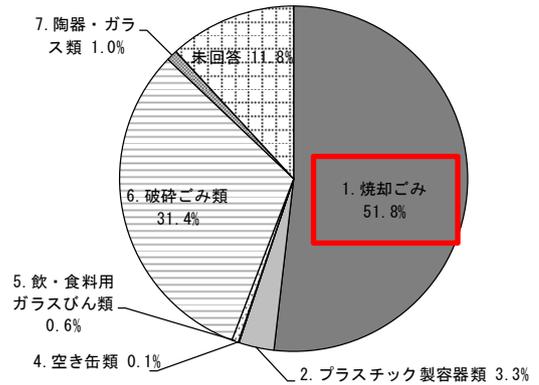
⑧ファスナーの付いた衣類



⑨化粧びん



⑩ゴムホース

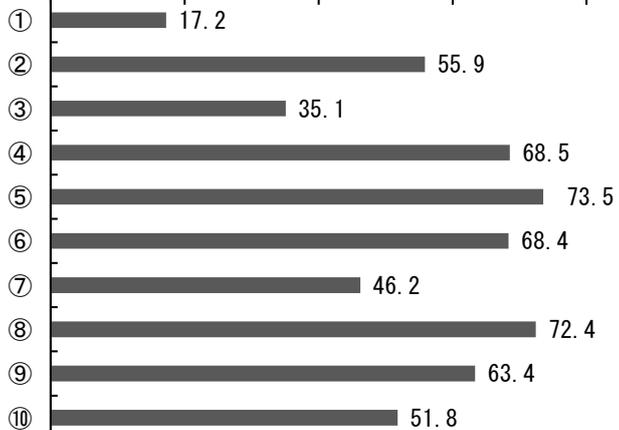


正解率

%

0 20 40 60 80 100

- ① 調味料や歯磨き粉等のチューブ
- ② プラスチック製バケツ・洗面器
- ③ プラスチック製ハンガー
- ④ ペットボトルのラベル
- ⑤ アルミホイル
- ⑥ 家庭用ラップ
- ⑦ 紙製のお菓子の箱
- ⑧ ファスナーの付いた衣類
- ⑨ 化粧びん
- ⑩ ゴムホース



【結果概要】

正しく分別されている割合が低い品目は、次の通りです。

①調味料や歯磨き粉等のチューブ

正しくは、汚れを取り除いて「プラスチック製容器類」ですが、多くの方が、「焼却ごみ類」で出しています。多くの方が、**汚れを取り除くことに負担**を感じていると考えられます。

③プラスチック製ハンガー

正しくは、大きさによって「焼却ごみ類」・「破碎ごみ類」ですが、**プラスチック製品であること**から24.1%の方が、誤って「プラスチック製容器類」で出しています。

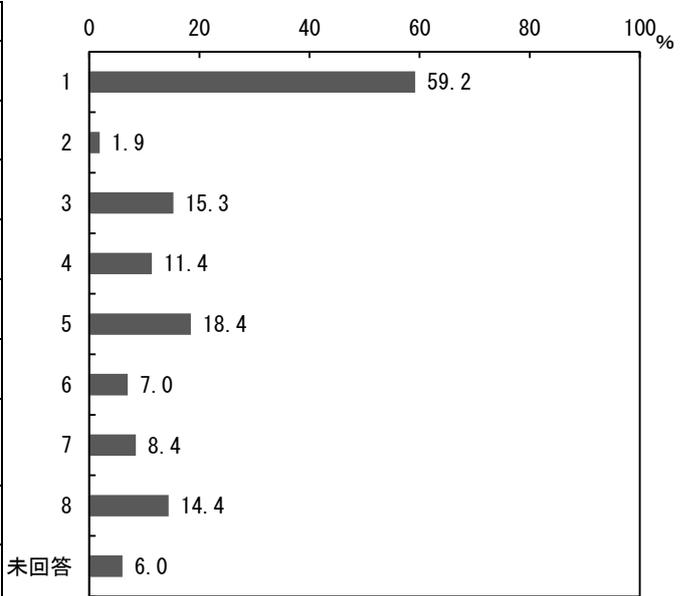
⑦紙製のお菓子の箱

正しくは、「雑誌・雑紙」ですが、37.9%の方が「焼却ごみ類」で出しています。**雑紙としての認識が低いことや、箱を開いたり、束ねたり、保管することに負担**を感じていると考えられます。

【10. ごみ袋引換券制度について】	
目的	現行の引換券制度について市民が課題に感じていることを把握し、今後の引換券制度の検討にあたり参考とする。

問11-1 現在のごみ袋引換券配付制度についてどう思いますか？（〇はいくつでも）

	回答数
1.今のままでよい	687
2.引換券の受取方法や交換方法が分かりにくい	22
3.ごみ袋の大きさが1種類であり、不便である (小さいサイズが欲しい)	177
4.2人世帯以上で袋の枚数が一定(135袋)であり、 袋が不足している	132
5.無料の範囲(135袋)を超えた場合のごみ袋の金額 (1袋当たり110円)が高い	214
6.無料の範囲内(135袋以内)であれば減量するメリ ットが得られない	81
7.ごみ袋代やごみ処理費用の一部として、ごみ袋 1袋目 から有料(8円~40円程度)としている自 治体が多く、草津市もそのようにすべきである	98
8.その他	167
未回答	70
合計	1,648



【結果概要】

現在のごみ袋引換券配付制度に対しては、「1.今のままでよい」という回答が59.2%と最も多くなっています。一方、「2.分かりにくい」は1.9%と低く、**現行の制度は市民に広く浸透している**と考えられます。

なお、「5.ごみ袋の金額が高い」が18.4%、「3.ごみ袋の大きさが1種類で不便」が15.3%となっています。「4.袋が不足している」、「7.草津市も有料にすべきである」、「6.減量するメリットが得られない」は10%程度でした。

今のままでよいという回答が約60%ですが、**指定ごみ袋の金額、サイズ、配布枚数、減量に対するインセンティブに課題**を感じているという意見も一定数ありました。

【その他の主な意見について】

配布条件の改善や枚数不足について

- ・「家族が多い(オムツを利用する幼児もいる)ので足りなくなる」
- ・「子どもが多く、寝たきりの介護をしていると袋は全く足りなかった」
- ・「戸建住宅で敷地内の雑草や庭木の剪定枝等の処分ですり足りない」

適量な配布枚数について (世帯・人数等)

- ・「1人暮らし世帯で余る世帯と必要な世帯と枚数をふりわけて欲しい」
- ・「子育て世帯の配慮が必要」、「2人世帯でも5人世帯でも袋の枚数が同じなのは無理がある」

減量に対する優遇について

- ・「ごみの減量により引換券が余った時はいくらかで買い上げ/商品券に交換してもらえたら、もっと減量化が進むのでは」

袋のサイズについて

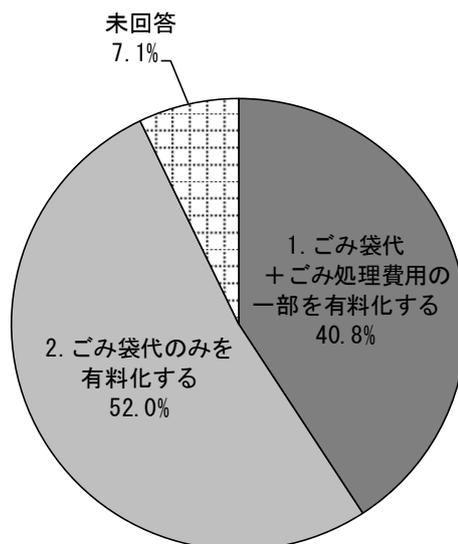
- ・「少人数の世帯が増えているので小さめの袋が有れば良いと思う」
- ・「大中小そろえて欲しい」

【11. ごみの有料化について】

目的	有料化に対して持つイメージをつかみ、今後の有料化検討に向けての参考とする。
----	---------------------------------------

問11-2 問11-1で7に○をつけた方にお聞きします。有料化にする場合、次のどちらが良いと思いますか。(○は1つ)

	回答数
1. ごみ袋代 +ごみ処理費用の一部を有料化する	40
2. ごみ袋代のみを有料化する	51
未回答	7
合計	98



【結果概要】

指定ごみ袋の有料化について、「2. ごみ袋代のみを有料化する」は52.0%、「1. ごみ袋代+ごみ処理費用の一部を有料化する」は40.8%となっています。

指定ごみ袋代として負担する費用については、ごみ処理費用を含む方が家庭での経済的負担の増加につながりますが、**回答は二分され、その差は10ポイントほど**です。

問12 ごみ減量化・資源化等についてのご意見などをご自由にお書きください。

自由意見の中で最も多かったのは、「分別・排出」についてが最も多く（99件）で、次いで「指定ごみ袋」について（71件）、「ごみ有料化」について（44件）となっています。

1. 「分別・排出」について挙げられた主な意見

- ・今までプラスチックは洗い排出していたが、汚い物は焼却ごみに代わり矛盾を感じる。
- ・草津市は滋賀県の中でも他の市町村に比べて分別に関して厳しいと思っていたが、環境問題が問われる様になり、これが正しい方向性だと実感している。
- ・プラスチックで排出しても持ち帰ってもらえないことがある。破碎ごみ類と指示されたが、判断しにくい。硬質プラスチックとは画像などを使って具体的に周知してもらいたい。

2. 「指定ごみ袋」について挙げられた主な意見

- ・ごみ袋は大・中・小にしてほしい。大しかないので、量が少ない時に色々つめて捨てる。
- ・少人数世帯ではごみ袋が大きすぎて、半分くらいの時がある。冬場は2回分をまとめるという方法もとれるが、夏場はにおいや腐敗のことも考えると小袋も欲しい。
- ・ごみ袋の引換券制度は良いが、不足した場合の購入額が1枚110円というのは高すぎる。

3. 「ごみ有料化」について挙げられた主な意見

- ・地域住民に地球温暖化・ごみ問題の意識を高めることも行政の役割だと考える。ごみ袋や処理代負担も有料することでごみを減らす意識も強くなると思う。
- ・一定数無料配布は続けてほしい。なくなると指定ごみ袋を使わず捨てる人が増えると思う。
- ・トータルでコスト削減、環境負担減、その他の市の発展につながるのであれば納得感は得られる。

